

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	茨城県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	麻生町立麻生小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	2	2	2	2	2	12	18
児童数	35	36	41	41	45	49	6	253	

研究の概要

1. 研究主題

「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」 —— 個の確かな理解と個を生かす指導を通して ——
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～6年生・算数 児童の学力の状況に差が出やすい教科，学年であるため。 ・ 5～6年生・社会 児童の社会科への興味・関心を高め，問題解決的な学習をより効果的にすすめられるようにするため。 ・ 4～6年生・音楽 専門性をもつ教師が指導した方が知識や技能の習得に効果が得られる教科，学年であるため。

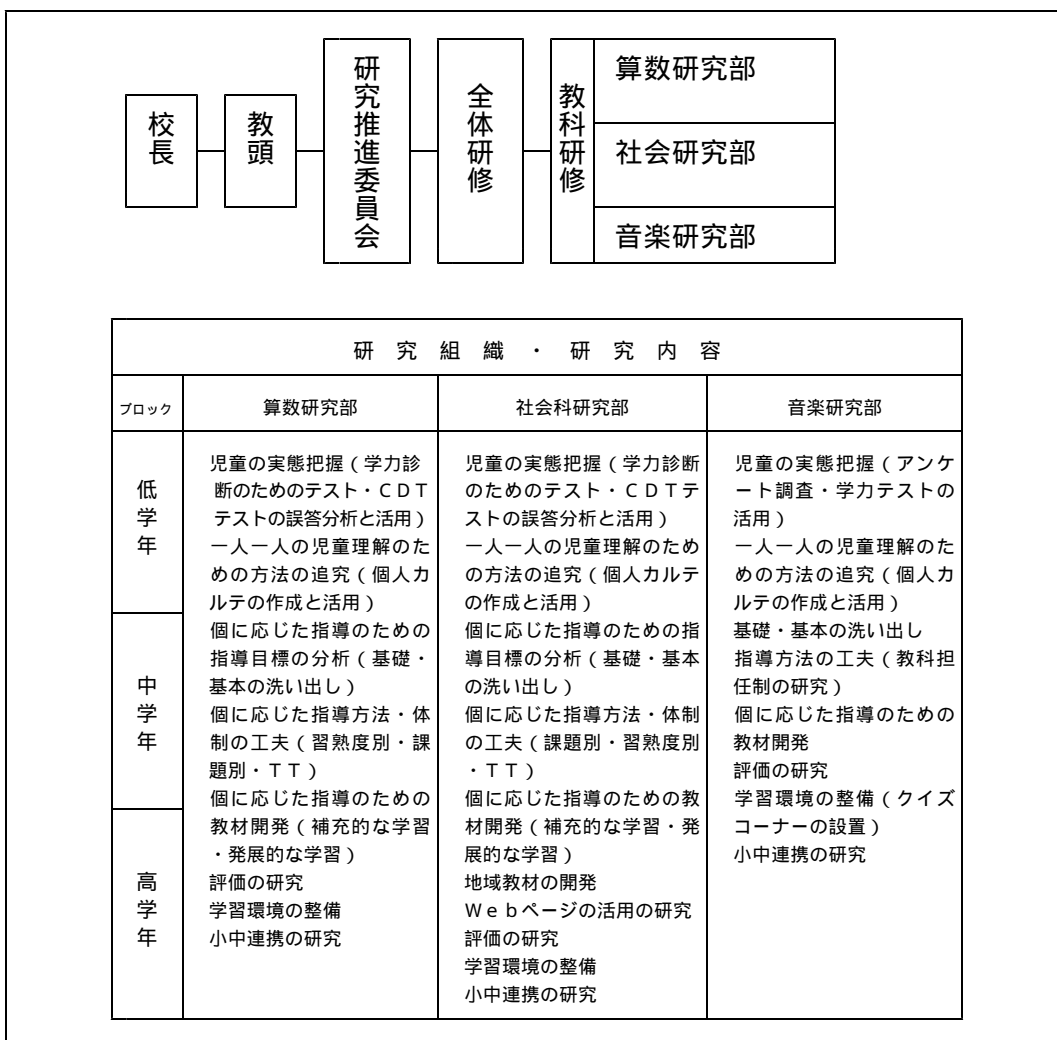
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」 —— 個の確かな理解と個を生かす指導を通して ——</p> <p>研究の見通し 児童一人一人を深く理解する方法を追究し，個に応じた指導方法・指導体制を工夫改善し，個を生かす指導をすれば，児童に「確かな学力」を身に付けることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 深く児童を理解するための方法の追究 学力テストの分析 意識調査(アンケート) 個人カルテの作成</p> <p>(2) 指導目標の分析 「学力診断のためのテスト」や単元テストの結果から到達度の低い単元の洗い出し 指導目標分析表の作成(算数・社会) 指導目標分析表を基にした教材開発の推進と到達度テストの作成</p> <p>(3) 指導方法・指導体制の研究 習熟度別少人数指導 ティーム・ティーチング 教科担任制</p> <p>(4) 教材開発 ワークシートの活用 Webページの活用 地域教材の開発</p>
--------	---

- (5) 学力の評価と評価を指導に生かす研究
- (6) 小中連携の在り方

平成16年度	<p>テーマ 「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」 —— 個の確かな理解と個を生かす指導を通して ——</p> <p>研究の見通し 個の理解を充実させ、課題を明確にした上で、一人一人の児童を生かす。 個に応じた授業の実践と教材の開発を進める。</p> <p>研究の内容・方法 前年度の研究の継続 個に応じた授業の実践 個に応じた教材の開発</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

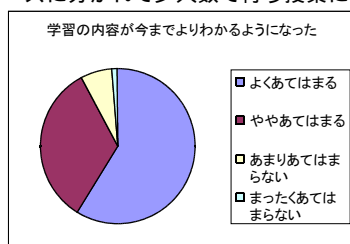
児童対象に行ったアンケートの結果を見ると、習熟度別指導を行って授業がわかるようになったと答えた児童は約92%おり、児童にとって有効な指導方法であったことがわかった。

習熟度別少人数指導を行ったことで、その児童がどこでつまづいているのかが今までよりも分かりやすく、個に応じた手立てを考えることができた。

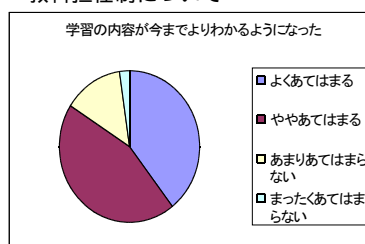
音楽で教科担任制を取り入れたことで、専門性を生かすことができた。特に、歌唱や楽器楽典などの指導をきめ細かに行うことができた。

習熟度別少人数指導や教科担任制の授業を公開してきたことで、保護者の関心が高まり、理解を得られるようになってきた。

<コースに分かれて少人数で行う授業について>



<教科担任制について>



2. 今後の課題

到達度の差が大きい高学年になると、習熟度別指導を実施してもなかなか習熟度別目標を達成できない場合がある。授業時間以外を活用し、家庭との連携を図りながら計画的に個に応じた指導を実施するように配慮する必要がある。

レディネステストや評価テストなどを基に、コース分けをする際に教師がアドバイスするものの、最終的には児童がコース選択をするので、実態に合わないコースで学習し、学習内容に対する理解が不十分になってしまう児童が一部見られたので、コース選択に当たっての教師のアドバイスの工夫が必要である。

複数の教師による指導にあたっては、事前・事後の綿密な打ち合わせと評価が大切である。打ち合わせの時間をもっと大切にしていきたい。

音楽では、個に応じた対応ができ、さらに発展的な活動につなげられる選曲をしていきたい。

学力等把握のための学校としての取組

月末テストの実施（月1回国語・算数）
CDTテストの実施（1・2年生対象）
意識調査の実施
到達度テストの実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

HP作成（研究概要及び学習指導案）
フロンティアスクールだよりの発行予定
保護者・町内小中学校への授業公開



- | | | | | |
|----------------------|------------------------------------|------------------------------|--------------|----------|
| 【新規校・継続校】 | レ 1 5 年度からの新規校 | 1 4 年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 6 学級以下
1 3 ~ 1 8 学級
2 5 学級以上 | レ 7 ~ 1 2 学級
1 9 ~ 2 4 学級 | | |
| 【指導体制】 | レ 少人数指導
レ 一部教科担任制 | レ T . T による指導
その他 | | |
| 【研究教科】 | 国語
生活
体育 | レ 社会
レ 音楽
その他 | レ 算数
図画工作 | 理科
家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | レ 有 | 無 | |